慶應義塾大学医学部
内科学教室

新内科専門医制度
後期臨床研修プログラム
につきまして

2017年9月7日

プログラム指導者

統括責任者

慶應義塾大学医学部内科学教室

教室主任教授　　鈴木則宏先生

副統括責任者

慶應義塾大学医学部内科学教室

呼吸器内科教授　　別役智子先生

慶應の内科は一つ！

慶應内科は伝統的に一つの大講座制をとっています。
消化器、循環器、呼吸、神経、腎臓内分泌代謝、血液、
リウマチ膠原病の7内科から構成されています。各診療科の
強い絆で、内科学教室一体となって患者さんを診療しています。

慶應義塾大学 内科専門研修プログラム
につきまして

慶應義塾大学内科学教室では
平成３０年度からの新専門医制度に準拠し、
次の二通りの方針で、
後期研修できる体制をしっかりと整えております。

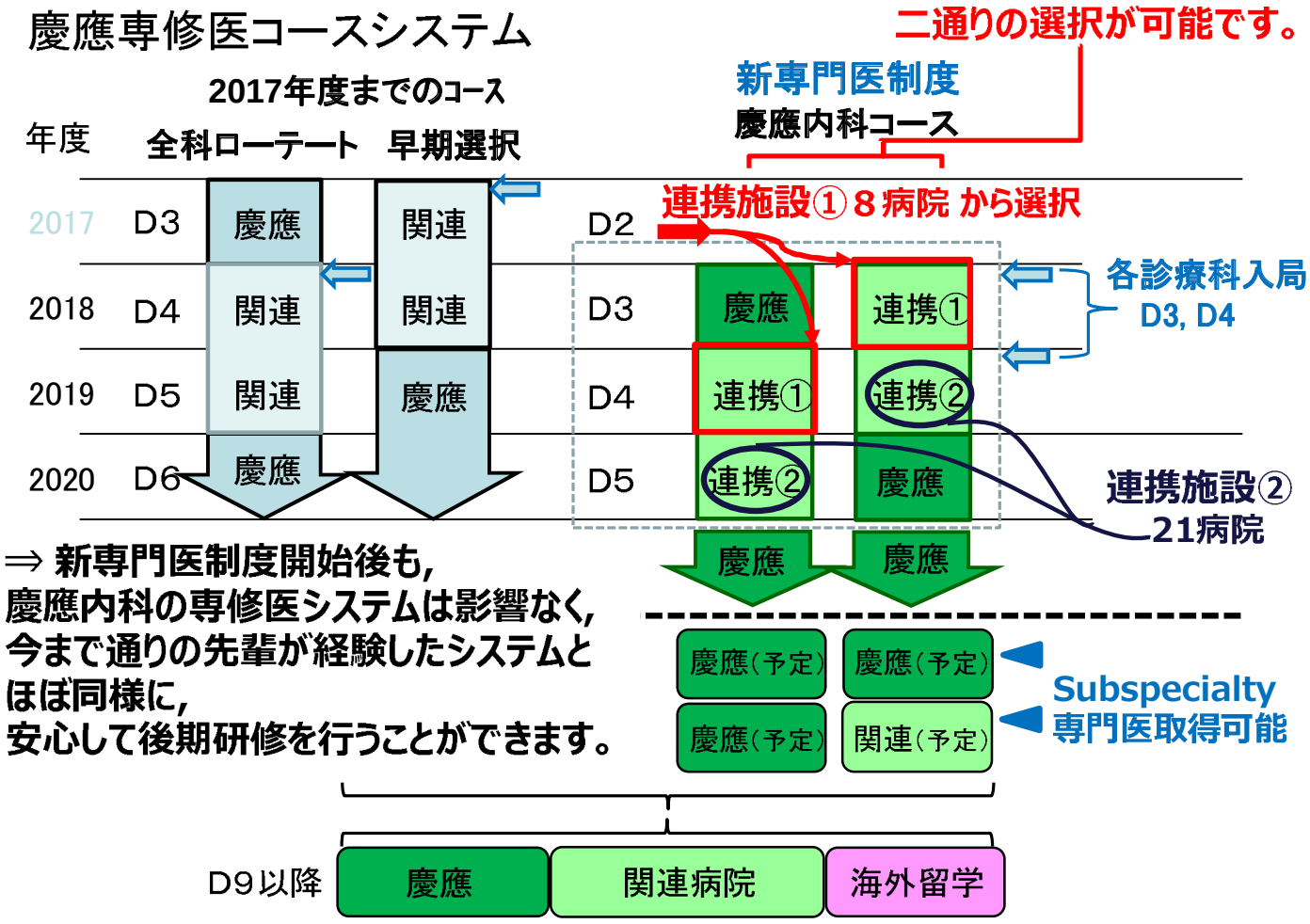
以下の二つの方針で**後期研修できる体制をしっかりと整えております。**

① 慶應内科学教室では、
後期研修医１年目（医師3年目:D3）から4年目（医師６年目:D6）の４年間のうち、２年間連携施設において研修します。
連携施設での研修は、１年単位で２施設での研修となります。

② これまでの慶應内科研修のよい伝統を引き継ぎながら，更に自由度のあるプログラムとなります。
医師3年目もしくは4年目において、**各診療内科に入局**します。
医師3年目は、慶應病院 もしくは 連携施設①8病院で研修ができます。
医師4年目を目安に、連携施設①②の病院、もしくは慶應で**専門を含めた研修**が始まります。

⇒ **新専門医制度の開始後も慶應内科の専修医システムは影響なく、今まで通りの先輩が経験したシステムとほぼ同様に、安心して後期研修を行うことができます。**

慶應専修医コースシステム



慶應専修医コースシステム　ー 新専門医制度 ー　解説

新内科専門医制度に対応します。

慶應基幹プログラムは以下のコースが存在します。

Aコース（D3からＤ５の３年間のうち, 慶應１年、連携①１年、連携②１年）

入局時期

内科学教室へ入局　：　D3開始と同時に内科学教室に入局します。

その上で、

各診療内科へ入局　：　D3もしくはD4で各診療科７科のいずれかに入局します。

連携施設病院先の決定

2回に分けて決定する予定です。

出向順は１年目連携① ⇒ ２年目連携②となります。

1回目:D2の冬に連携①を決定

2回目:D3の冬に連携②を決定

慶應専修医コースシステム　ー 新専門医制度 ー
連携施設について

連携施設病院①　（連携①）は８病院あります。

済生会中央病院	横浜市立市民病院
東京医療センター	さいたま市立病院
川崎市立川崎病院	東京歯科大学市川総合病院
けいゆう病院	済生会宇都宮病院

連携施設病院②　（連携②）は２１病院の予定です。

足利赤十字病院	埼玉メディカルセンター
佐野厚生病院	日本鋼管病院
川崎市立井田病院	練馬総合病院
済生会横浜市東部病院	荻窪病院
平塚市民病院	河北総合病院
国立病院機構 埼玉病院	静岡日赤病院
東京都立大塚病院	立川病院
国際医療福祉大学三田病院	榊原記念病院
永寿総合病院	国立がんセンター
北里研究所病院	国立がんセンター東病院
日野市立病院	

慶應専修医コースシステム　ー 新専門医制度ー　解説
各学年ごとの研修施設のイメージ

１）**後期研修医Ｄ３からＤ６の４年間に、**

２年間連携施設　において研修します。

２）　**D3もしくはD4**において、**各診療内科に入局**です。

３）　**Ｄ３**は　　慶應病院 もしくは 連携①施設8病院で研修ができます。

４）　**Ｄ４**は　　Ｄ３慶應の場合　　⇒ 連携①で、

Ｄ３連携①の場合　　⇒ 連携②で 研修します。

５）　**Ｄ５**は　　Ｄ４連携①の場合　　⇒ 連携②で、

Ｄ４連携②の場合　　⇒ 慶應で 研修します。

６）　**D4,D5**において、連携施設もしくは慶應で**専門を含めた研修**をします。

⇒　**上記のシステムにより、**

早期にSubspecialty の専門医取得への道が用意されます。

新専門医制度研修（後期臨床研修）後は

- 慶應大学病院 にて各臨床部門のスタッフとしてさらなる専門教育をうけたり、基礎研究部門を極める！
- 関連病院 でスタッフとして配属し、臨床医としてさらに研修を積む！
- 海外 の研究機関、臨床施設へ留学する！

新病院棟建設（2017年度）

新病院棟建設を中核とした
世界に冠たる総合医学府の構築

新病院棟が完成いたしました！

これからの予定について

現在医師2年目の先生へ

応募方法

慶應専修医応募期間

慶應義塾大学医学部専修医研修センター募集サイト

今後、募集の情報が公開されますのでご確認下さい。

慶應　専修医

これからの予定について

現在医師2年目の先生へ

採用試験日

試験日：調整中です

⇐ 慶應義塾大学の試験期間が定まり次第、決定いたします。

午前8時50分集合

場所　：　東校舎講堂2F

慶應義塾大学医学部専修医研修センター募集サイト
内科学教室専修医募集サイト

試験内容（予定）　午前9～11時　：　小論文、英文和訳
午後1時～　　：　面接

慶應　内科

今後注目しておくべきところ

- **新専門医制度の動向**について

慶應　内科

- **募集期間**です。

慶應　専修医

- **採用試験**です。

慶應　内科

最新情報をアップデートしますので、ご確認ください！

研修担当者連絡先

内科研修担当主任　川田一郎
E-mail　ichirok@a3.keio.jp
Tel　03-5363-3793
Fax　03-3353-2502

Keio University

CALAMVS GLADIO FORTIOR 1858

慶應義塾大学医学部
内科学教室

Department of Internal Medicine, Keio University

慶應内科の魅力

「内科は一つ」という理念

慶應内科は伝統的に一つの大講座制をとっています。
各診療科の強い絆で、内科学教室一体となって
患者さんを診療しています。

質の高い教育環境, 優秀な指導医

内科総合力を磨くことができます！
７つの診療科をローテートします。
幅広い基礎知識と高い専門性を身に付ける
充実したプログラムを用意しています！

豊富な関連病院！

医師３年目から６年目の間の２年間を約30ある
関連病院、連携施設の中から選び研修します。

将来の幅広い選択肢

海外留学をする先生が多いのも慶應内科ならではの特徴です。

新しい人との出会いから,生涯の仲間に-「社中協力」

慶應内科を研修先に選ばれた専修医の方々の約半数は、慶應大学以外の出身です。様々な大学や初期臨床研修病院からの先生、是非お待ちしております。

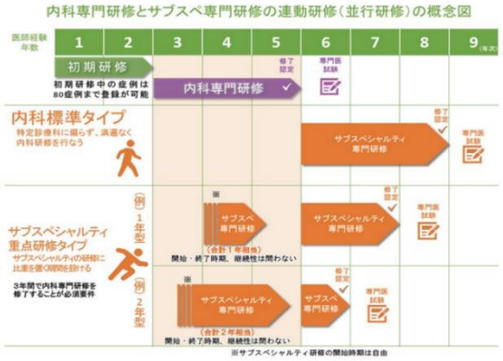
世界クラスの研究活動

慶應内科は基礎研究でも世界をリードしています。
臨床に直結する研究に興味のある人には大学院進学という選択もあります。

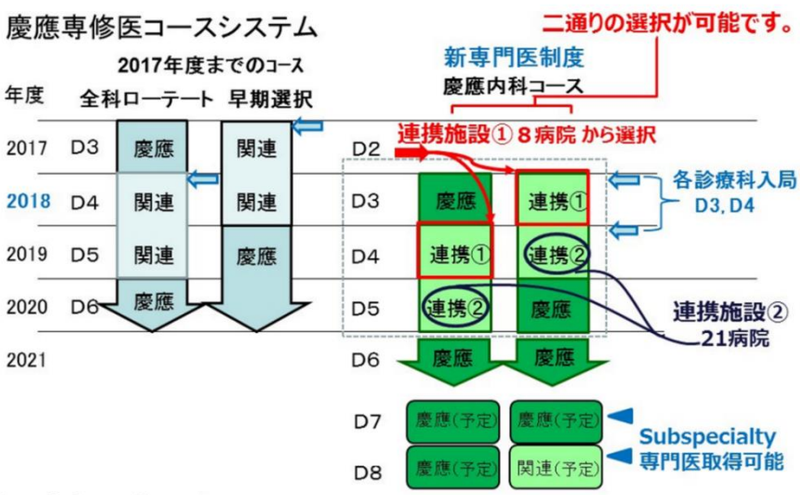
新専門医制度導入後もほぼ影響ない研修システム

日本内科学会ホームページ　新専門医制度　2016年12月22日

内科専門研修とサブスペ専門研修の連動研修（並行研修）の概念図



新制度が開始される場合も、慶應内科全科ローテートシステムはほとんど影響なく、今まで通りの先輩が経験したシステムのもと、安心して後期研修をおこなうことができます。



問い合わせ先

内科学教室HP：　http://www.keio-med.jp/
研修医専修医担当主任　川田一郎 ichirok@a3.keio.jp